

# 農研NOW

春号  
平成28年4月

## 目次

ラボから新技術

イネWCS等を含む発酵飼料 P.2

チャトゲコナジラミの同時防除 P.3

黒毛和種種雄牛「福久桜」 P.4

## 次世代リーディング品種

# 熊本県オリジナル 水稲新品種 誕生

この度、当センター農産園芸研究所において、平成12年から15年の歳月をかけて水稲新品種を育成しました。

炊き上がりのお米にツヤがあり、粘りが強く、極良食味。草丈が低く倒伏しにくいいため、栽培しやすい品種です。穂数が多く収量性も高い。今後、県産米を新たにリードする「次世代リーディング品種」として期待されます。

この新たな水稲品種を消費者の皆さんに親しまれる品種とするため、名称を募集します。詳細は、当センターHPをご覧ください。多くの方のご応募をお待ちしております。

**お米にツヤがあり、粘りが強く、おいしい！**

**食味ランキング最高位の「特A」評価に期待**

## 水稻新品種 名称募集

熊本県で今回育成した水稻新品種を消費者の皆さんに親しまれる品種とするため、名称を募集します。

### 1 募集期間

平成28年4月7日(木)~22日(金)

### 2 応募方法

①名称(フリガナ)②命名の理由(50字程度)③氏名(フリガナ)④〒⑤住所⑥TEL を記入のうえ、はがき、FAX、熊本県庁HPから電子申請のいずれかでご応募ください。

### 3 応募先

はがき：〒861-1113合志市栄3801

「農業研究センター企画調整部

『水稻名称募集事務局』宛て

FAX:096-248-7039

電子申請：熊本県庁HP「イベント・情報カレンダー」もしくは熊本県農業研究センターHP

### 4 副賞

選考の結果、最優秀賞(1点)へは熊本県産米30kg、優秀賞(2点)へは熊本県産米10kgを差し上げます。

詳しくは、当センターHPをご覧ください。たくさんのご応募、お待ちしております。



## イネWCS等を含む発酵飼料は トウモロコシサイレージの代替として 乳牛に給与可能である

熊本県では乳用牛1頭当たりの飼料作付面積は減少傾向にありますが、1戸当たりの飼養頭数は増加しています。

トウモロコシサイレージ等の自給飼料を通年で給与できる農家が減少しており、自給飼料が不足する時には、輸入粗飼料(購入飼料)に頼らざるを得ない状況にあります。

そのような中、民間のTMRセンターにおいて、トウモロコシサイレージの代替として、イネWCSやミカンジュース粕などを原料とした発酵飼料が製造されています。

そこで、この発酵飼料の給与による搾乳牛への影響について明らかにしました。

### 1. 発酵飼料給与による影響はない

泌乳中期牛に、トウモロコシサイレージの代替としてイネWCSやミカンジュース粕などを原料とする発酵飼料を給与しても、乾物摂取量、乳量及び乳成分に影響は見られません。



血液性状およびルーメン液pHにおいても、発酵飼料給与による影響は見られませんでした。

このように、イネWCSやミカンジュース粕などを原料とする発酵飼料の給与は、乳生産性等へ影響を与えることなく、トウモロコシサイレージ不足時の代替として乳牛に給与可能であることを明らかにしました。

### 2. 期待される効果

自給飼料が不足した際には、既存の発酵飼料が利用でき、飼料自給率の向上や酪農家の経営安定が期待されます。

表1 乾物摂取量および泌乳成績

| 測定項目    |         | 発酵飼料区 | トウモロコシサイレージ区 |
|---------|---------|-------|--------------|
| 乾物摂取量   | (kg/日)  | 26.8  | 25.0         |
| 乳量      | (kg/日)  | 31.4  | 29.6         |
| 乳脂率     | (%)     | 4.29  | 4.39         |
| 無脂固形分率  | (%)     | 8.98  | 8.91         |
| 乳蛋白質率   | (%)     | 3.62  | 3.59         |
| 乳糖率     | (%)     | 4.33  | 4.31         |
| 乳中尿素態窒素 | (mg/dL) | 11.46 | 12.64        |

# 「くまもと農業」の未来を拓く 攻めの農業技術開発

2

## チャトゲコナジラミと クワシロカイガラムシ第一世代との 同時防除は効果が高い

近年、県内の茶園でチャトゲコナジラミの発生地域が拡大しています。チャトゲコナジラミの被害として、幼虫が排泄した甘露によるすす病の発生や、成虫の吸い込みによる作業環境の悪化が挙げられます。

### 1. 防除時期

クワシロカイガラムシ第2世代ふ化最盛期よりも、第1世代ふ化最盛期に薬剤散布を行った方がチャトゲコナジラミの発生を低い水準に抑制することが出来ました。

また、薬剤防除の標的となるチャトゲコナジラミ卵および若齢幼虫の構成比は、クワシロカイガラムシの各世代の防除適期において、第1世代が最も高くなります。

なお、クワシロカイガラムシのふ化最盛期は、「熊本県病害虫防除所」のHP（調査データ）から確認頂けます。

### 2. 期待される効果

チャトゲコナジラミとクワシロカイガラムシを同時防除することで、環境負荷及び防除コストの削減が図られます。

## 熊本県 病害虫防除所 のご紹介

熊本県病害虫防除所は、植物防疫法に基づき当センター生産環境研究所に設置されており、主な業務として、

①病害虫の発生状況の把握及びそれに基づく発生予察情報等の提供②適時適切な防除のための企画指導③重要病害虫の浸入警戒調査を行っています。

発生予察情報等は、警報、注意報、特殊報、予報及び技術情報等に分けられ、Eメールやファックスにより県機関、市町村、農協、共済組合等に提供されます。

一方、予察情報は所のHPにも掲載していますので、農家等にも直接提供されます。情報の詳細については、所のHPをご覧ください。

病害虫防除所HPアドレス



http://  
www.jpnp.ne.jp/  
kumamoto/



巡回調査の様子



予察灯による発生調査



チャトゲコナジラミを防除するうえで、コスト増加を防ぐためには、他の害虫との同時防除が有効です。同時防除が可能な害虫にクワシロカイガラムシがあります。そこで、クワシロカイガラムシの防除時期（ふ化最盛期）の薬剤散布によるチャトゲコナジラミへの防除効果を明らかにしました。

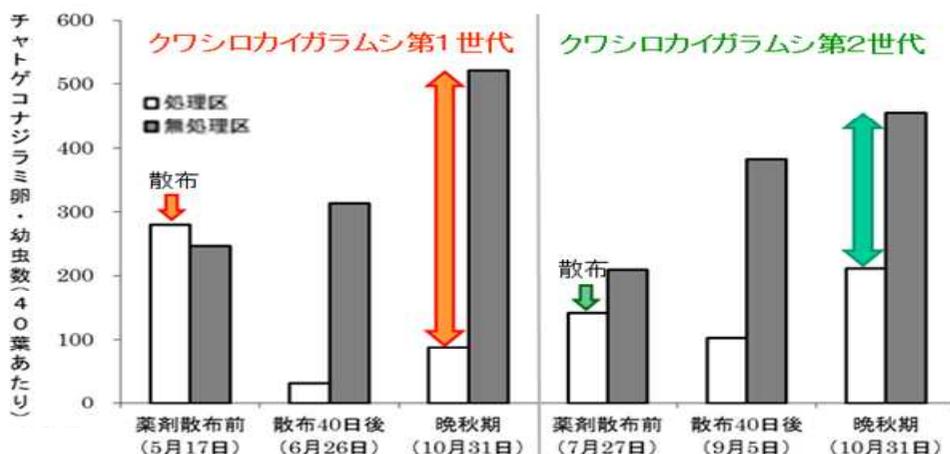


図 農業散布時期の違いがチャトゲコナジラミの卵・幼虫数に及ぼす影響  
(フェンピロキシメート・プロフエン水和剤 1000倍、1000リットル/10a散布)

イベント情報  
(4~6月)

●茶業研究所

- ・4月中旬  
「一番茶製造研修会」
- ・6月下旬  
「二番茶製造研修会」



●草地畜産研究所

- ・5月上旬  
「一番草刈取り」



●企画調整部

- ・6月下旬  
「農業の新しい技術」公表



詳しくは、各研究所にお問い合わせください。



「くまもと農業」の魅力を発信できる新品種

3

黒毛和種種雄牛「福久桜」

全国に通用する優良な県産黒毛和種種雄牛の作出が望まれており、生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

1. 「福久桜」の特徴

脂肪交雑が県種雄牛の中でトップクラスにあり、ロース芯面積の大きさについても優れています。

育種価における脂肪交雑の評価においては、基幹種雄牛である「平茂幸」を上回る能力を持っています。

2. 期待される効果

優れた産肉能力から、バランスよく高い成績が期待される種雄牛です。



**安福久**

安福 165の9  
もとじろう

**福桜(宮崎)**

第4ひろみ  
203ひがしわき

**安福(岐阜)**

しげふじ13の7  
紋次郎  
もとひかり  
陸桜  
きよふく  
**糸弘2**  
第1いつみ4



| 形質     | 程度  | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 程度  | SBV   |
|--------|-----|----|---|---|---|---|-----|-------|
| 枝肉重量   | 小さい |    |   |   |   |   | 大きい | 0.64  |
| ロース芯面積 | 小さい |    |   |   |   |   | 大きい | 1.71  |
| バラの厚さ  | 薄い  |    |   |   |   |   | 厚い  | 0.71  |
| 皮下脂肪   | 厚い  |    |   |   |   |   | 薄い  | -0.20 |
| 脂肪交雑   | 少ない |    |   |   |   |   | 多い  | 1.91  |

※SBV(標準化育種価): 遺伝的な個体の特徴を明確にするため、育種価(遺伝的能力)を標準化した数値



〒861-1113  
熊本県合志市栄3801  
tel 096-248-6411  
fax 096-248-7039  
E-mail:  
noukenkikaku@pref.kumamoto.lg.jp

本紙の内容に関するお問い合わせは、  
企画調整部 情報課 まで  
ご連絡ください

管理部  
総務課  
経理課  
096-248-6412

企画調整部  
企画情報課  
096-248-6422

農産園芸研究所  
作物研究室  
矢部試験地  
パイ育种研究室  
花き研究室  
野菜研究室  
096-248-6444  
生産環境研究所  
土壌環境研究室  
施設経営研究室  
病虫害研究室  
096-248-6447  
茶業研究所  
096-282-6851

畜産研究所  
大家畜研究室  
中小家畜研究室  
生産基礎技術研究室  
飼料研究室  
096-248-6433  
い業研究所  
アグリビジネス支援室  
フードバレー推進室  
いぐさ研究室  
野菜栽培研究室  
0965-52-0372

草地畜産研究所  
0967-32-1231  
果樹研究所  
常緑果樹研究室  
落葉果樹研究室  
病虫化学研究室  
0964-32-1723  
高原農業研究所  
0967-22-1212  
球磨農業研究所  
0966-45-0470  
天草農業研究所  
0969-22-4224